

学 び 舎 (まなびや)

～清和台南小学校 学校通信 第14号～
平成29年3月24日



一年間を振り返って ～修了式～

平成28年度が終了しました。「学び合い」という学校全体としての目標とともに、学年・学級としての目標は達成できたでしょうか。また、個人として4月に自分自身で立てた目標はどうだったでしょうか。



学校の目標としての「学び合い」については、1学期の朝会でそのねらいを話しました。

まず、「学ぶ」については、『自分でやる』『疑問を持つ』『出会う』学習をしてほしいということでした。自分

4年生算数

から積極的に取り組むとともに、「なぜだろう」と考えて学習する、それが、この「学ぶ」という言葉には込められています。そして、友達や先生と出会い、自然や出来事と出会って、その学びを自分自身で体験してほしいということです。

また、「合う」という言葉には、『たくさんの人と一緒に』学習するという願いが込められています。みんなと仲良く協力することで、学習することの楽しさを知ってほしいのです。

この一年間、みなさんの学校生活を見てみると、全体的には落ち着いて授業に集中し、先生の指示を守って、学習に取り組むことができた人が多いと思います。

また、運動会や音楽会などの行事では、一人ひとりが精いっぱい努力し、そのうえでお互いに協力して、見ている人聞いている人を感動させる、素晴らしいものを創り上げてきました。

そして、児童会活動。計画委員を中心に、各委員会がいろいろな企画を考え、自分たちの力で実行し、より良い学校生活を自分たちの手で実現させようと努力してきました。そういった意味では、「学び合い」の目標に近づくことができたと思います。

しかし、一方、課題もあります。自分の気持ちをコントロールできずに、ちょっとしたことで友達とトラブルになってしまったこと、あいさつや片付け、トイレのマナーなど、日常の行動に甘さが見られること、登下校や休み時間などでの安全についての意識を高めること…など、そういった課題にも来年度取り組んでいく必要があります。

4月からは一つずつ上の学年に進級し、新しい学級でのスタートとなります。春休みにゆっくり自分の生活を家族とともに振り返り、新鮮な気持ちで来年度を迎えられるよう、準備してほしいと思います。



3学期大そうじ

感謝と抱負と

～第40回卒業式～



先週17日(金)に本校第40回卒業式が行われました。まだ少し寒さが残るものの、春到来を思わせるような青空が広がるなか、本年度85名の6年生が巣立っていきました。

卒業証書授与では、学級担任に呼名された一人ひとりの卒業生が、花道で家族への感謝と将来の夢を語り、その後卒業証書を受け取りました。

会場の人たちが注目するなか、きちんと目を合わせ堂々とした姿勢で証書を受け取る姿に、6年間の確かな成長が感じられました。

「卒業生の歌とことば」では、それぞれの児童が6年間の思い出を、時には個人で時には集団で、大きな声を出して発表しました。

また、在校生代表として出席した5年生も、卒業生の気迫に負けることなく、凛とした姿勢と声で、巣立っていく卒業生に歌と言葉でエールを送りました。式場の前後から響く「旅立ちの日に」の合唱は、参列した来賓や保護者の方々、そして私たち教職員に大きな感動を与えました。



卒業式終了後のグラウンドでの見送りには、共に過ごした仲間や卒業を喜ぶ保護者の方々と一緒に歩く、卒業生の勇姿が見られました。

ご臨席いただいた、川西市教育委員会教育長職務代理者の加藤隆一郎様をはじめ、たくさんのご来賓の方々、並びに地域・保護者の方々、本当にありがとうございました。



卒業式に先立ち、3月10日(金)に新・計画委員主催の「6年生を送る会」が実施されました。各学年それぞれの個性を生かしたユニークな出し物は、送られる側の6年生にとっても楽しいものになりました。在校生にとって、年数は違うものの、6年生にお世話になったのはみんな同じ。出し物の最後には、この日のために在校生が用意していたメッセージカードをプレゼントしました。6年生はお礼の言葉とリコーダー奏で在校生に返礼。そして、最後は恒例のくす玉割り。新計画委員会が用意したお祝いのくす玉を旧計画委員会の児童が割りました。



卒業式に出席できない子どもたちにとっては、これが6年生に感謝の気持ちを伝える最後の機会となります。楽しい雰囲気の中に、在校生の「ありがとう」の気持ちが込められた、「6年生を送る会」でした。

新年度の始業式は4月7日(金)です。